

2024年度 放課後児童クラブ「秋津」事業計画

放課後児童クラブ「秋津」は、小学1、2年生「赤とんぼ」55人、3年生以上「銀やんま」25人計80人の定員ですが、令和5年度、同じ地区の小学校の学童定員を増加したことにより、「秋津」は年間利用平均約60人に激減しました。そのため令和6年度は「赤とんぼ」と「銀やんま」2単位から1単位へ湖西市と変更の相談をしましたが、湖西市全体の需要があることから、引き続き2単位で行うこととなりました。但し人数を調整「赤とんぼ」50人、「銀やんま」20人計70人の定員で経過をみることとなります。

さて、ICTシステム導入のおかさきこども園と同じく「コドモン」の導入をしました。登園降園管理と更に支援員と子どもたちとの関わり方は引き続き会議等で共有し、コドモンを活かしていけるように学んでいきたいと思えます。そして、個別の対応が増える中、発達障害やコミュニケーションがうまくはかれず子ども同士のトラブルも増えています。療育支援で指導を受けながら、子ども一人ひとりの理解に努め、居場所作りの環境を学んで取り入れていきたいと思えます。また、「秋津」では、車での迎えをしているため、安全に務め、安心して過ごす場所をつくっていかうと思えます。

また、作成したマニュアルの確認、共有をして子ども・保護者が安心して利用できるようにすること、「秋津」の特性を活かし選ばれる放課後児童クラブであるために、玩具等環境の工夫に取り組んでいきます。

<放課後児童クラブ 秋津 (あきつ) 本年度のテーマ>

安全な環境を工夫して、子ども保護者に安心して過ごせる居場所作りを心がける。

【重点目標】

1. 子どもの安全を守り、魅力ある学童での過ごし方を考え実践する。

- ・マニュアルの確認（事故防止・事故対応 防災・災害対応 防犯不審者対応 感染症予防・対応）
- ・子どもの思いに耳を傾け自分から宿題や学習に取り組める環境を工夫する。
- ・学童で取り組める教育プログラムを考え実施をし、特徴ある学童を発信する。
- ・子どもの姿を伝え合い、保護者とコミュニケーションをはかり、信頼関係を築く。

2. 遊びの充実と支援員の意識の向上をはかる。

- ・一緒に遊び子ども同士の中からルールを覚えたり、たくさん遊びを通して人と関わり楽しむ。
- ・興味のあるあそび指先や頭を使うあそび、身体をつかったあそびを中心に行い、玩具を選ぶ。
- ・お手伝いや子どもリーダー中心に、チームづくりをして自分たちで遊びや行事を考え取り組む。
- ・コドモンの活用、Wi-Fi使用などプログラムの計画実施振り返りを行う。
- ・集団に入れないこどもへの配慮をする。

3. 他機関と情報共有と連携、おかさきの学童を利用したくなるような地域への働きかけを行う。

- ・園児との交流 プチボランティア 車の乗り降りの約束、学校への待合場所での連絡を確実にを行う。
- ・長期期間等を利用し、避難訓練、不審者訓練に参加する。
- ・湖西市教育委員会総務課（学童担当）と連携を図る。他の学童との情報交換 学童連絡会の参加
- ・募集パンフレットの配布、見学案内を積極的に行う。

【令和6年度 4月 児童数】（ ）は長期利用人数

| | 岡崎小 | 鷺津小 | 白須賀小 | 知波田小 | 東小 | 計 |
|------|--------|------|------|------|-----|--------|
| 1年 | 14 | 3 | 3 | (1) | (2) | 20(3) |
| 2年 | 20 | 3(2) | 2 | | | 25(2) |
| 3年 | 8(2) | (1) | 1(1) | | | 9(4) |
| 4年以上 | 2(13) | (5) | | | | 2(18) |
| 合計 | 44(15) | 6(8) | 6(1) | (1) | (2) | 56(27) |